

平成 3 1 年度使用教科書選定理由書

【 1 選定に係る基本方針】

本校は「生徒の力を最大限に伸ばす進学校」を目指す学校像として掲げ、重点目標の一つに「国公立大学をはじめとする第一志望現役合格」を設定して教育活動に取り組んでいる。各学年普通科 7 クラスに加えて県北部地区唯一の理数科 1 クラスを設定している学校である。普通科は 2 年次から文系・理系に分かれて授業を行っている。入学当初より大学進学を希望する生徒がほとんどで、進学に対する意識はかなり高い。例年、約 9 5 % の生徒が大学入試センター試験を受験するため、教科書選定は受験にも対応できることを考慮して行っている。よって図や写真が適切に配置されていることはもちろん、分量も充実していることが学習指導を進める上で重要となる。さらに、2 0 2 0 年に始まる新大学入試では、記述式問題が導入される。本校では、発展的な内容についても扱うことや、授業において生徒の主体的・対話的で深い学びを促すことにより、これに対応するための発信力、探究力、語学力等の確かな学力を身につけるための教育活動をさらに進めていく。したがって、より高度な内容が適切に配置されていること及び生徒の主体的・対話的で深い学びを促す工夫がなされていることが望ましい。これらの点を踏まえて教科書の選定をする方針である。

※ 学習指導要領、学校教育目標、学校や学科の特色、生徒の実態等を踏まえて、学校としてどのような方針をもって教科書選定を行うかを示す。